

米国バイオ＆テクノロジー株オープンの運用状況

米国バイオ＆テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

2020年1月22日

米国バイオ＆テクノロジー株オープンでは、米国のバイオテクノロジー、情報技術（IT）、先端技術製品、サービステクノロジー等の各分野の株式を買い付け、ポートフォリオを構築しています。

本レポートにおいては、2019年12月から2020年1月中旬にかけての米国株式市場の動向、米国の食品医薬品局(FDA)による新薬承認の動向、および当ファンドの足元の運用状況についてお伝えします。

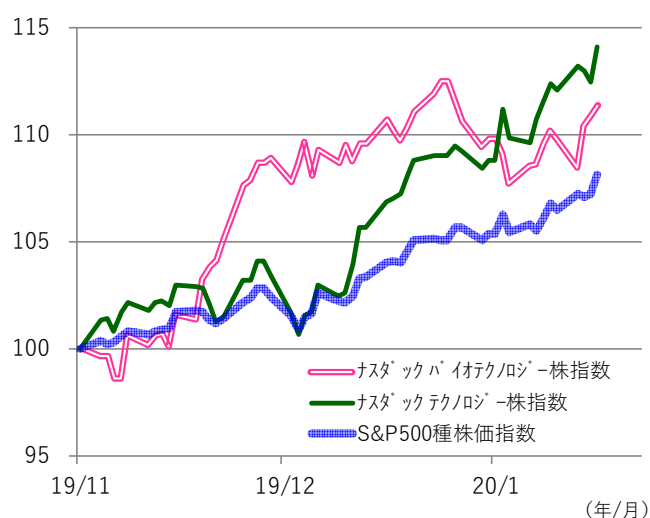
【12月から足元にかけて上値を試す展開】

2019年12月の米国株式市場は、上旬は、トランプ大統領がブラジルとアルゼンチンからの鉄鋼輸入に関税を課すと表明したことが懸念される一方で、11月の米雇用統計において非農業部門の雇用者数が市場予想を上回ったことを受けてもみ合う展開となりました。中旬は、米中通商協議が「第一段階」の合意に達したことを受けて上昇しました。下旬は、クリスマス休暇を挟み、薄商いとなる中、米中通商協議の「第一段階」への署名が2020年の早期に行われるとの期待から続伸する展開となりました。

2020年1月に入ってから、米国とイランが対立する中、中東情勢の緊迫化が警戒されたものの、米中両国が通商交渉を巡る「第一段階」の合意に署名したことを受けて投資家心理が改善したことに加え、米中両国の主要経済指標が概ね堅調な内容となり、世界的に経済成長が上向くとの期待が浮上したことから米国株式市場は上値を試す値動きとなり、主要株価指数が過去最高値を更新する展開となりました。

米国の主要株価指数の推移

(2019年11月1日～2020年1月16日、2019年11月1日=100)



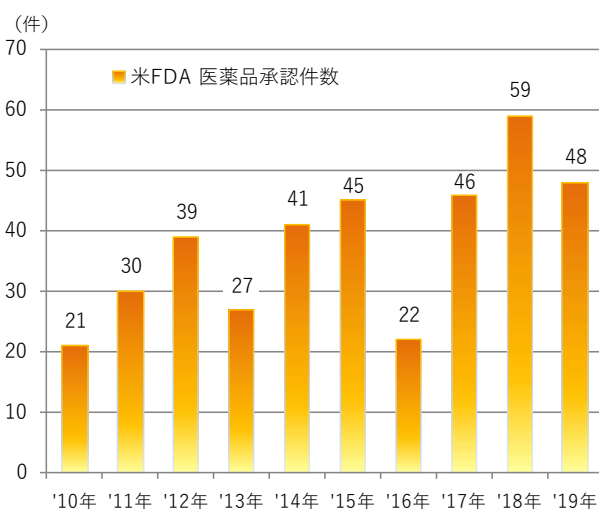
(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

【医薬品承認件数は2019年も高水準】

米食品医薬品局(FDA)による2019年の医薬品承認件数は48件に上りました。これら48件のうち20件が「ファースト・イン・クラス(画期的医薬品)」と呼ばれ、特に新規性・有用性が高く、従来の治療体系を大幅に変えるような新薬であると位置付けられています。

2019年の承認件数は2018年実績(59件)を下回ったものの、過去10年間で2番目に多い承認件数を記録しました。これは、医療制度改革が大統領選の争点の一つになっているにもかかわらず、新薬開発がかつてないほどの成功を収めていることを示していると言えます。今後も「ファースト・イン・クラス」の新薬を開発できるようなバイオテクノロジー企業の動向が注目されます。

米FDAの医薬品承認件数 (2010～2019年)



(出所) 米FDA「New Drug Therapy Approvals 2019」のデータより岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国バイオ＆テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式**

【当面の株式市場見通しと運用方針】

当面の米国株式市場は、高値圏でもみ合う展開になると予想します。1月後半から本格化する2019年10-12月期業績の発表を前に、投資家の様子見姿勢が強まると考えられる一方、米国経済が緩やかながらも改善基調にあるとの期待が株価を下支えするとみられます。2019年10-12月期業績に関しては、足元において前年比減益にとどまると予想されているものの、多くの主要企業が市場予想を上回る決算発表を行うことが見込まれます。

当ファンドの運用につきましては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドからの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別を行い、組入れを行います。テクノロジー関連株に関しては、半導体関連銘柄のウェイトを高位に維持する方針です。バイオ関連株については、イノベーションによる新薬開発を背景に業績の拡大が見込まれる中小型のバイオ医薬品銘柄を新規に買い付ける方針です。

運用状況（作成基準日 2020年1月17日）

設定来の基準価額推移（2015年3月17日～2020年1月17日）



ファンドデータ(1月17日現在)		セクター別組入比率(1月17日現在)		分配金実績(1万口当たり、税引前)	
基準価額(円)	10,900	ソフトウェア・サービス	23.8%	第1期(2015年6月9日)	450円
残存元本(百万口)	8,559	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	17.8%	第9期(2017年6月9日)	50円
純資産(百万円)	9,329	ヘルスケア機器・サービス	15.7%	第11期(2017年12月11日)	650円
株式組入比率(%)	92.4	半導体・半導体製造装置	11.2%	第12期(2018年3月9日)	550円
短期金融商品その他(%)	7.6	メディア・娯楽	10.4%	第13期(2018年6月11日)	550円
組入銘柄数	57	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	10.0%	第14期(2018年9月10日)	500円
		小売	3.4%	第19期(2019年12月9日)	300円
				設定来累計	3,050円

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※分配金再投資基準価額は、設定日を起点として算出しております。
 ※分配金は1万口当たり、税引前です。
 ※各比率はマザーファンドを通じた実質組入比率です。
 ※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

（作成：運用本部）

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国バイオ & テクノロジー株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容を正確に確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国バイオ & テクノロジー株オープン
追加型投信／海外／株式

米国バイオ & テクノロジー株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、米国の株式等価動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.815%（税抜1.65%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただけます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	○			
東海東京証券株式会社	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)